

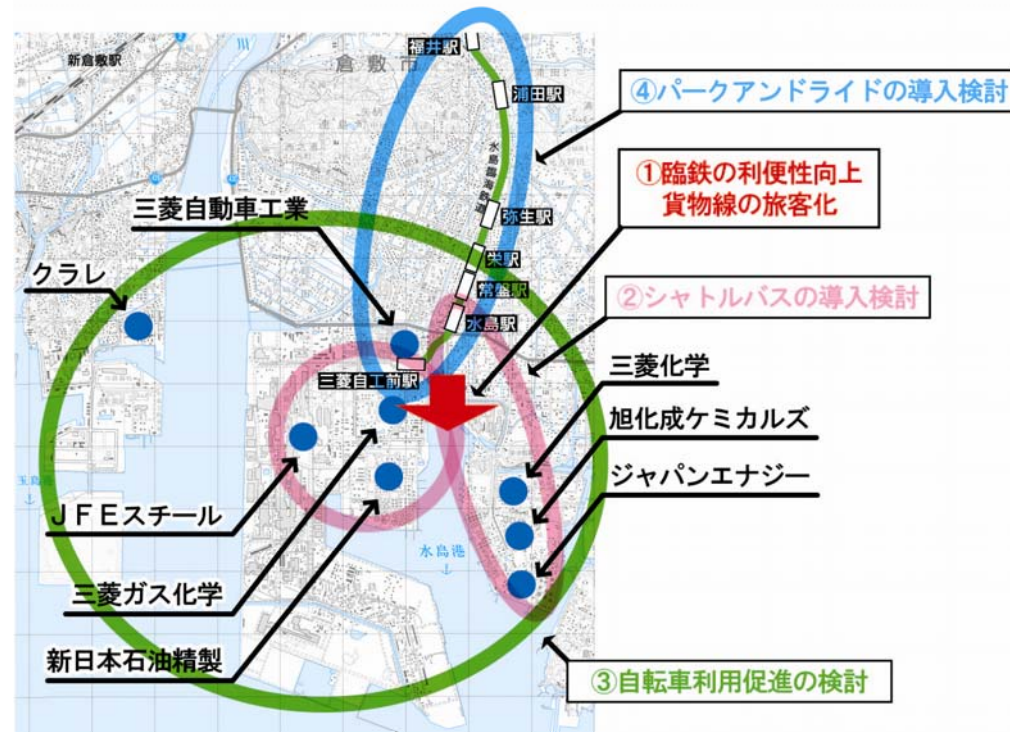
平成20年度低炭素地域づくり面的対策推進事業(岡山県倉敷市)

人口47万人

倉敷市の水島コンビナート周辺では、公共交通の不便地域で約8割以上の人がマイカーで通勤している。そのため、温室効果ガス(Co2)の排出抑制にかかる施策を総合的に推進するため、電車・バス・自転車・徒歩等のエコ通勤による、低炭素社会構築のための仕組みづくりについて調査を行うものである。

実施主体:水島コンビナート・エコ通勤検討協議会

(JFEスチール、クラレ、新日本石油精製、ジャパンエナジー、旭化成ケミカルズ、三菱化学、三菱ガス化学、三菱自動車工業、日本労働組合総連合会岡山連合会倉敷地域協議会、倉敷観光コンベンションビューロー、倉敷商工会議所、倉敷商店街振興連盟、水島商店街振興連盟、西日本旅客鉄道株式会社、水島臨海鉄道株式会社、両備ホールディングス株式会社、下津井電鉄株式会社、吉備の国地球温暖化対策地域協議会、学識経験者[岡山大学]、岡山県、倉敷市)



①水島臨海鉄道の利便性向上
及び貨物線の旅客化の検討

②シャトルバスの導入検討

③自転車利用促進の検討

④パークアンドライドの導入検討



⑤ CO2排出量削減効果の検証

平成20年度実施スケジュール ①7月～1月 ②7月～1月 ③7月～1月 ④12月～1月 ⑤1月～2月末

問い合わせ先:倉敷市交通政策課 電話086-426-3545